要望する教育内容について

１　概　要

　サイバーセキュリティに資する教育で、授業時間の５０％は実践的な演習を通じて実施されるもの

２　時　期

　令和８年１０月２６日（月）～３１日(土)の内６日間

３　受講人数

　１名

４　教育内容

⑴　１日目（偽情報、情報分析、各国のＯＳＩＮＴ）

　ア　信頼性モデルを用いた偽情報の検出

　イ　ＯＳＩＮＴフレームワークの適用

　ウ　機密グループの分析におけるＵＩＬの活用

　エ　ＯＳＩＮＴの探求、アクセス問題の克服

⑵　２日目（ＯＳＩＮＴのためのＰｙｔｈｏｎ）

　ア　ＯＳＩＮＴとウェブ抽出のためのＰｙｔｈｏｎ学習

　イ　アトリビューション管理とウェブスクレイピングの実行

　ウ　自動化されたインテリジェンスダッシュボードの構築

　エ　ＡＩツールを含むＡＰＩとの連携

　オ　クラウド上でのＰｙｔｈｏｎコードの自動化とデプロイ

⑶　３日目（動画・画像・音声分析、ＯＳＩＮＴのためのＡＩ）

　ア　画像・動画分析と逆検索の実施

　イ　ＡＩを用いた音声分析と話者識別

　ウ　ＯＳＩＮＴとソーシャルメディアタスクへのＡＩの活用

　エ　ＡＩコンテンツの検出とウェブサイトスキャンの実行

　オ　クラウド資産とゲームＯＳＩＮＴの発見

2」

(4)　４日目（ソックパペット、ＯＰＳＥＣ、ダークウェブ、暗号通貨）
　ア　ＯＰＳＥＣを活用した偽ペルソナの作成と管理
　イ　ダークウェブの検索とサイバー犯罪の理解
　ウ　テクノロジーを活用したダークウェブサイトの匿名解除
　エ　暗号通貨取引と制裁対象アドレスの追跡
　オ　ワイヤレス技術の探求と最新ドローンの検出
(5)　５日目（自動監視、車両追跡、パスワード保護ファイルの取り扱い）
　ア　ツールを使ったＯＳＩＮＴモニタリングの実施
　イ　セルフホスト型ワークフローの自動化の活用
　ウ　ネットワーク分析のためのデータ可視化
　エ　オープンソース車両データの収集と分析
　オ　パスワードで保護されたファイルと認証情報へのアクセス
(6)　６日目（総合実習）
　ア　チームによるＯＳＩＮＴデータ収集
　イ　Ｐｙｔｈｏｎコードと高度な技術を活用した実践的な課題